

## 2-2-5 『環境首都・札幌』に関する交通施策等の体系化

### (1) 基本方針とパッケージ名

交通システムの充実により  
『環境首都・札幌』の実現  
を支える

環境首都を目指す札幌市においては、公共交通の利用促進や自動車利用の適正化を図るとともに、各交通モードの円滑性や連続性を向上させるなど環境負荷の低減による持続可能な低炭素型の交通システムの充実を図ります。

## 環境負荷低減促進パッケージ

環境負荷の低減を図るため、公共交通の利用促進等による  
自動車利用の適正化や交通の円滑化を図ります。

### (2) 実施目標、交通施策・事業例

#### ■実施目標①

公共交通システムの拡充や利用促進の取り組みを進めます。

#### ■交通施策・事業例

- 地下鉄駅のバリアフリー化（ホーム柵設置）
- 路面電車の既存線のループ化・延伸検討、低床車両の導入
- モビリティマネジメントの推進
- SAPICA のバス・路面電車での共通利用
- SAPICA エリアでの Kitaca・Suica の利用
- ドニチカキップ等の利用しやすいサービス策の充実



地下鉄東西線ホーム柵設置状況



路面電車の低床車両導入(フランス・ボルドー)

■実施目標②

002 排出量の削減を目指し、道路交通の分散化や渋滞緩和対策による交通円滑化を進めます。

■交通施策・事業例

- バス路線等の幹線道路の整備
- 交差点改良等による渋滞対策の推進
- 右折レーン設置、中央帯・停車帯の明示等による既存道路空間の有効活用
- 次世代自動車の普及促進のための補助の実施

■実施目標③

冬期道路の円滑性を確保するため、拠点間連携を担う道路や主要なバス路線を中心に、重点的・効率的な除排雪を進めます。

■交通施策・事業例

- 重点的・効率的な除排雪の実施  
(交差点排雪箇所増、バスレーンや狭小バス路線の排雪強化、  
凍結防止剤の夕方散布の推進など)



バスレーンの排雪作業

<関連計画>

札幌市温暖化対策推進ビジョン、札幌市冬のみちづくりプラン

など